



2022年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年6月14日

上場会社名 株式会社オーエムツーネットワーク 上場取引所 東
 コード番号 7614 URL <http://www.om2.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大越 勤
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 澄川 新一 TEL 03(5405)9541
 四半期報告書提出予定日 2021年6月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年1月期第1四半期の連結業績 (2021年2月1日～2021年4月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第1四半期	6,674	△13.4	248	△48.9	291	△46.6	180	△47.8
2021年1月期第1四半期	7,710	6.6	486	78.4	546	80.8	345	67.2

(注) 包括利益 2022年1月期第1四半期 188百万円 (△36.2%) 2021年1月期第1四半期 295百万円 (60.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期第1四半期	26.77	-
2021年1月期第1四半期	51.22	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年1月期第1四半期	17,776	13,842	77.9	2,056.75
2021年1月期	17,793	13,815	77.6	2,052.76

(参考) 自己資本 2022年1月期第1四半期 13,842百万円 2021年1月期 13,815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期	-	0.00	-	24.00	24.00
2022年1月期	-	-	-	-	-
2022年1月期(予想)	-	0.00	-	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2022年1月期の連結業績予想 (2021年2月1日～2022年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,800	4.1	1,170	△14.5	1,350	△18.2	650	△5.7	96.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年1月期1Q	7,335,634株	2021年1月期	7,335,634株
② 期末自己株式数	2022年1月期1Q	605,419株	2021年1月期	605,419株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年1月期1Q	6,730,215株	2021年1月期1Q	6,743,481株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の収束への期待と各種政策の効果により一時的な持ち直しの動きがあったものの、感染再拡大の影響により、2021年4月に三度目の緊急事態宣言が発令され、厳しい経済状況となりました。海外経済においても新型コロナウイルス感染症の影響に加え、米中対立の継続や米国新政権政策の影響等、不透明感が強く残る状況となり、我が国の景気を更に下押しするリスクに留意が必要な状況にあります。

当社グループ中核事業の属する食品小売業界におきましては、取り扱う商品が国民の毎日の生活にとって欠かせない必需品であることから、大部分の店舗での営業は継続されたものの、商業施設等の一部店舗の休業や営業時間の短縮など負の影響も発生し、依然として続く労働力不足や人件費の上昇、物流費の増加等に加え、更に不透明な状況が続いております。

このような中で当社グループは、昨年来より政府や自治体による新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に関わる様々な要請に応えるとともに、従業員の健康と安全管理の徹底を最優先したうえで、雇用を維持しお客様のニーズに応えるべく様々な施策の実行を継続しております。小売部門においては、対策本部において意思決定や情報共有を円滑に図るとともに、地域の方の毎日の生活を支えるという使命のもと、お客様に安全に安心して食品をお買い物いただくことができるよう日々の店舗運営維持に努めてまいりました。

外食事業にあつては、2021年1月の二度目の緊急事態宣言により、首都圏や他の大都市圏における多くの店舗が休業や時短営業を余儀なくされる事態となりました。今後とも本事業を取り巻く環境は、厳しい状態が続くものと想定していますが、最優先すべきはお客様と従業員の安全との前提のもと、ソーシャルディスタンスの確保や消毒の徹底等店舗における感染予防策を徹底した上で営業を継続していく方針です。なお、上記休業に伴う損失は店舗休止等損失として計上しております。

以上により、当第1四半期連結累計期間の売上高66億74百万円（前年同期比13.4%減）、営業利益は2億48百万円（同48.9%減）、経常利益は2億91百万円（同46.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は店舗休止等損失98百万円の計上により1億80百万円（同47.8%減）となりました。

「食肉等の小売業」

当第1四半期連結累計期間の開店は1店、閉店は2店であり、(株)マルチョウ神戸屋の12店を加えた結果、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は152店になりました。内訳は食肉小売店138店（前期末比10店増加）、惣菜小売店14店（同1店増加）であります。当セグメントを取り巻く環境は上記記載の通りで、新型コロナウイルス感染症対策での外出自粛等により家庭需要はあるものの、前年同期では緊急事態宣言の期間も異なり、売上高は55億89百万円（前年同期比5.1%減）、営業利益は4億12百万円（同28.8%減）となりました。尚、本事業を管轄する子会社(株)オーエムツーミートの当第1四半期連結累計期間は2021年2月1日～2021年4月30日となっております。また、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含める(株)マルチョウ神戸屋は、当第1四半期連結会計期間において貸借対照表のみを連結し、損益計算書の業績は含まれておりません。

「外食業」

当第1四半期連結累計期間の開閉店はなく、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は41店になりました。当セグメントを取り巻く環境は、上述の通り、新型コロナウイルス問題の影響を強く受けたこと等から、売上高は11億1百万円（前年同期比41.6%減）、営業損失は1億4百万円（前年同期は営業利益は21百万円）となりました。尚、本事業を管轄する子会社2社の当第1四半期連結累計期間は以下となっております。

(株)オーエムツースタインディング(ステーキレストラン事業) 2020年12月1日～2021年2月28日

(株)焼肉の牛太(焼肉・しゃぶしゃぶ事業) 2021年1月1日～2021年3月31日

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の主要勘定の金額及びその前連結会計年度末比は以下の通りであり、大きな変動はありません。

流動資産	113億円（前期末比△6.6%）
固定資産	64億76百万円（同+13.7%）
総資産	177億76百万円（同△0.1%）
流動負債	33億56百万円（同△3.0%）
固定負債	5億78百万円（同+11.8%）
純資産	138億42百万円（同+0.2%）
負債・純資産合計	177億76百万円（同△0.1%）

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月12日の決算短信で公表致しました2022年1月期連結業績予想の数値は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大がもたらす連結業績に与える影響が小売事業と外食事業に相反する影響を与えていることなどから、現時点において合理的に算定することが困難であるため変更しておりません。今後、合理的な算定が可能となり、開示が必要であると判断された時点で、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,073,271	8,478,168
受取手形及び売掛金	298,228	249,072
テナント未収入金	1,683,752	1,309,111
商品及び製品	481,650	647,551
原材料及び貯蔵品	33,543	32,720
未収入金	253,159	327,045
その他	275,755	258,059
貸倒引当金	△645	△948
流動資産合計	12,098,716	11,300,781
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,514,198	3,867,493
減価償却累計額	△1,961,071	△2,240,195
建物及び構築物 (純額)	1,553,127	1,627,298
機械装置及び運搬具	426,050	541,414
減価償却累計額	△291,462	△372,823
機械装置及び運搬具 (純額)	134,587	168,591
土地	527,407	567,582
その他	1,936,100	2,046,288
減価償却累計額	△1,525,136	△1,622,432
その他 (純額)	410,963	423,855
減損損失累計額	△688,124	△661,761
有形固定資産合計	1,937,961	2,125,566
無形固定資産		
のれん	—	307,212
その他	106,970	106,643
無形固定資産合計	106,970	413,855
投資その他の資産		
投資有価証券	2,268,251	2,300,956
長期貸付金	45,647	44,554
退職給付に係る資産	118,358	124,134
繰延税金資産	211,981	149,984
敷金及び保証金	978,029	1,028,366
保険積立金	—	261,972
その他	40,579	39,331
貸倒引当金	△12,532	△12,532
投資その他の資産合計	3,650,316	3,936,767
固定資産合計	5,695,249	6,476,190
資産合計	17,793,965	17,776,972

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,590,134	1,896,501
1年内返済予定の長期借入金	30,380	67,700
未払金	537,472	617,116
未払法人税等	581,436	54,254
賞与引当金	68,867	157,642
その他	653,062	563,286
流動負債合計	3,461,353	3,356,500
固定負債		
長期借入金	69,620	95,962
退職給付に係る負債	35,799	59,043
役員退職慰労引当金	68,435	69,356
資産除去債務	253,818	261,851
その他	89,415	91,876
固定負債合計	517,089	578,090
負債合計	3,978,442	3,934,590
純資産の部		
株主資本		
資本金	466,700	466,700
資本剰余金	1,391,999	1,391,999
利益剰余金	12,407,307	12,425,921
自己株式	△597,619	△597,619
株主資本合計	13,668,387	13,687,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	137,284	131,286
退職給付に係る調整累計額	9,851	24,093
その他の包括利益累計額合計	147,135	155,380
純資産合計	13,815,523	13,842,381
負債純資産合計	17,793,965	17,776,972

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年4月30日)
売上高	7,710,823	6,674,477
売上原価	4,577,221	4,159,514
売上総利益	3,133,602	2,514,963
販売費及び一般管理費	2,647,116	2,266,149
営業利益	486,485	248,813
営業外収益		
受取利息	225	210
受取配当金	840	840
持分法による投資利益	30,591	20,475
家賃収入	1,023	1,077
協賛金収入	19,880	17,970
受取手数料	229	229
その他	7,456	2,575
営業外収益合計	60,246	43,380
営業外費用		
支払利息	54	21
不動産賃貸原価	80	78
その他	371	566
営業外費用合計	506	665
経常利益	546,225	291,527
特別利益		
受取補償金	3,220	1,381
補助金収入	—	150,686
特別利益合計	3,220	152,067
特別損失		
有形固定資産売却損	—	32
有形固定資産除却損	350	216
減損損失	8,954	348
店舗閉鎖損失	10,370	450
店舗休止等損失	5,177	98,699
特別損失合計	24,853	99,746
税金等調整前四半期純利益	524,592	343,849
法人税、住民税及び事業税	212,672	73,316
法人税等調整額	△33,469	90,393
法人税等合計	179,203	163,710
四半期純利益	345,389	180,139
親会社株主に帰属する四半期純利益	345,389	180,139

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年4月30日)
四半期純利益	345,389	180,139
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,342	1,438
退職給付に係る調整額	△515	△281
持分法適用会社に対する持分相当額	△37,400	7,086
その他の包括利益合計	△50,258	8,244
四半期包括利益	295,131	188,383
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	295,131	188,383

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年2月1日 至2020年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	外食業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,835,758	1,875,065	7,710,823	—	7,710,823
セグメント間の内部売上高又は 振替高	53,064	11,464	64,528	△64,528	—
計	5,888,822	1,886,530	7,775,352	△64,528	7,710,823
セグメント利益	579,976	21,859	601,836	△115,351	486,485

(注) 1. セグメント利益の調整額△115,351千円は、セグメント間取引消去△51,714千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△63,637千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年2月1日 至2021年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	外食業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,588,332	1,086,145	6,674,477	—	6,674,477
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,350	15,802	17,152	△17,152	—
計	5,589,682	1,101,947	6,691,629	△17,152	6,674,477
セグメント利益又は損失(△)	412,912	△104,248	308,664	△59,850	248,813

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△59,850千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、当社は(株)マルチョウ神戸屋の株式を取得し、連結子会社としました。これに伴い、「食肉等の小売業」において、のれんの金額が307,212千円増加しています。